

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
天塩川下流の減災に関する取組のフォローアップ

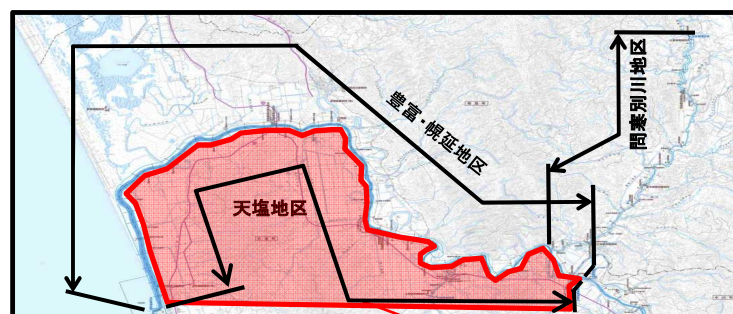
平成29年7月

天塩川下流減災対策協議会

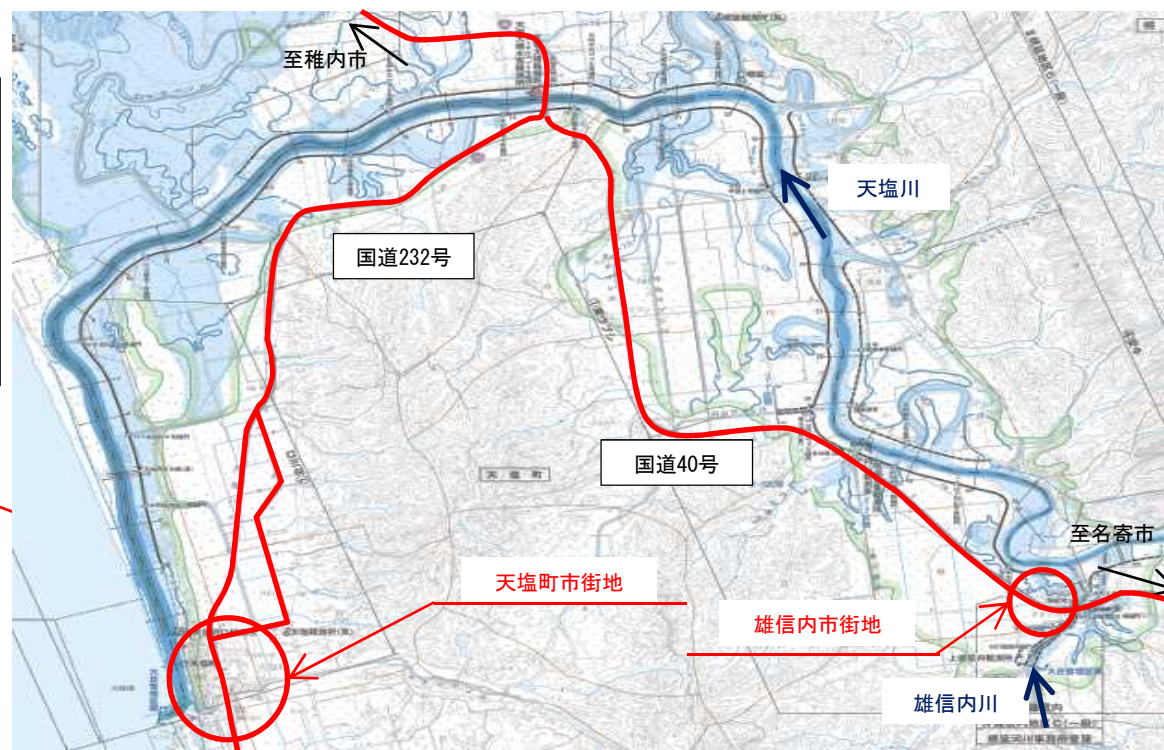
1. 天塩川下流の概要＜天塩地区(天塩川左岸側)＞

- ① 日本海側を通り札幌市への交通ルートとなる国道232号が天塩川と並走している。
- ② 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号が並走している。
- ③ 天塩川の河口付近には天塩町市街地が形成されている。
- ④ 天塩川と雄信内川の合流点には雄信内市街地が形成されている。

＜天塩地区＞



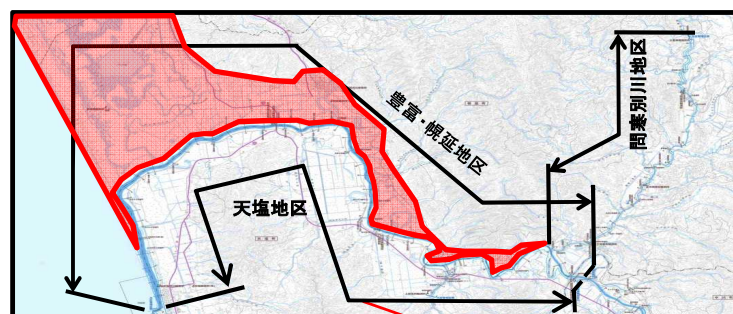
昭和56年洪水時の
浸水範囲



1. 天塩川下流の概要＜豊富・幌延地区(天塩川右岸側)＞

- ① 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号、JR宗谷本線がサロベツ川と並走している。
- ② サロベツ原野を流下することから浸水が広範囲に及ぶ。
- ③ 天塩川右岸には幌延町市街地が形成されている。
- ④ サロベツ川左岸には豊富町市街地が形成されている。

＜豊富・幌延地区＞



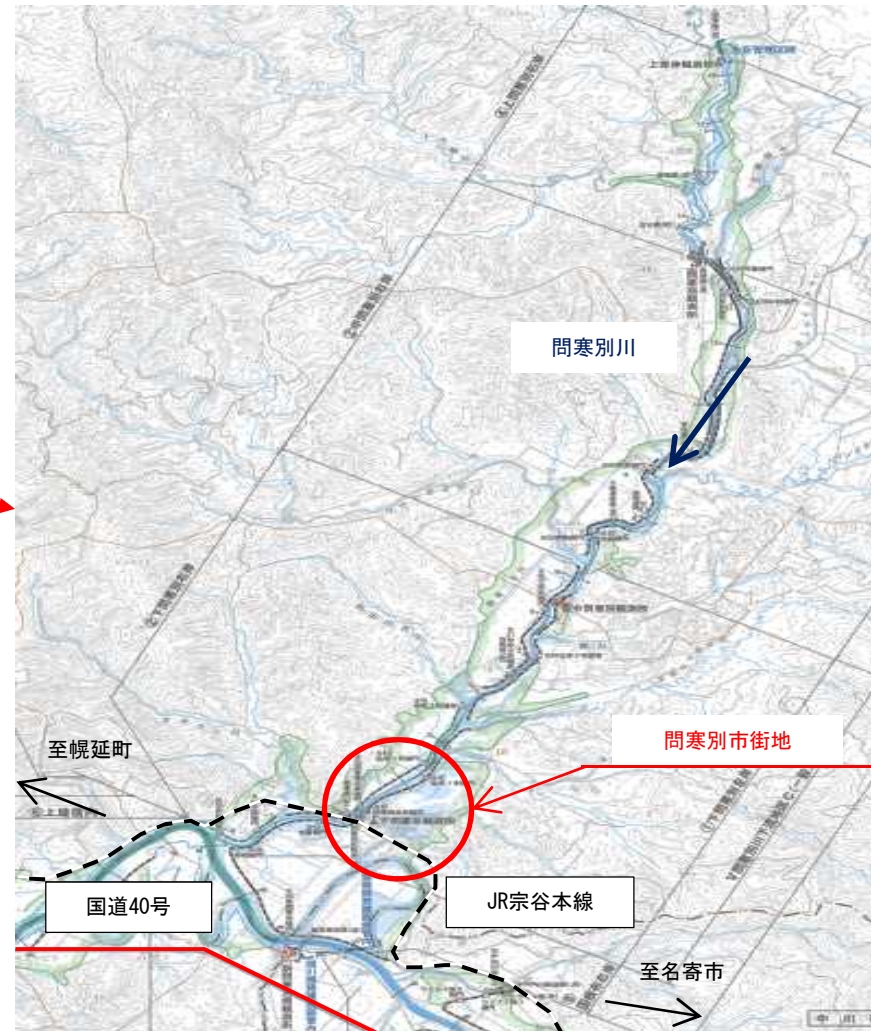
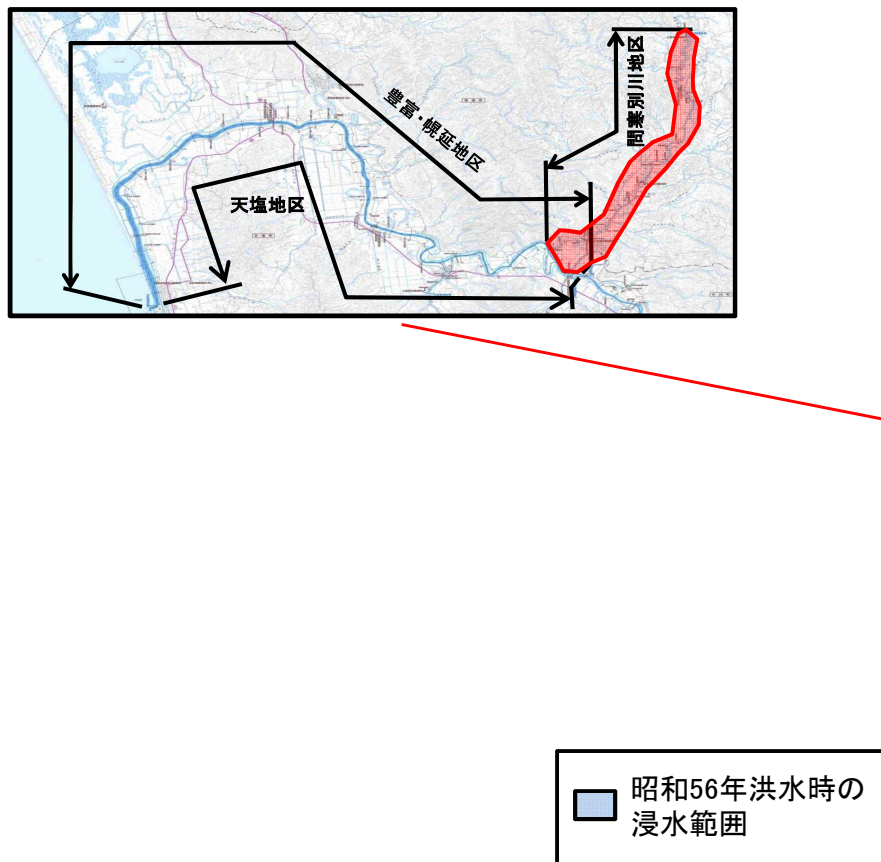
■ 昭和56年洪水時の
浸水範囲



1. 天塩川下流の概要＜問寒別川地区＞

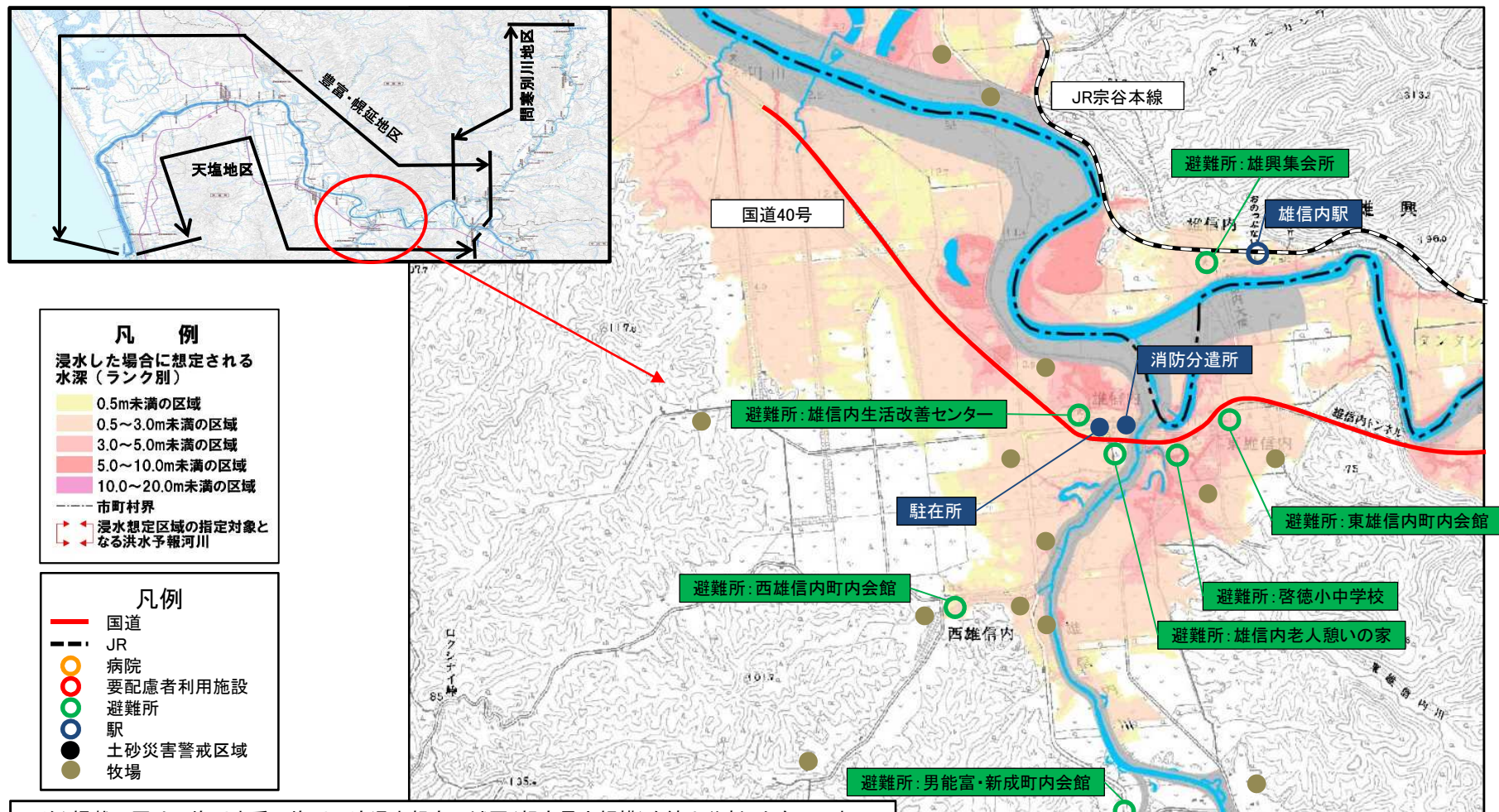
- ① 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなるJR宗谷本線が横断している。
- ② 問寒別川下流域には問寒別市街地が形成されている。

＜問寒別川地区＞



2. 天塩川下流の課題＜天塩地区(天塩川左岸側)＞

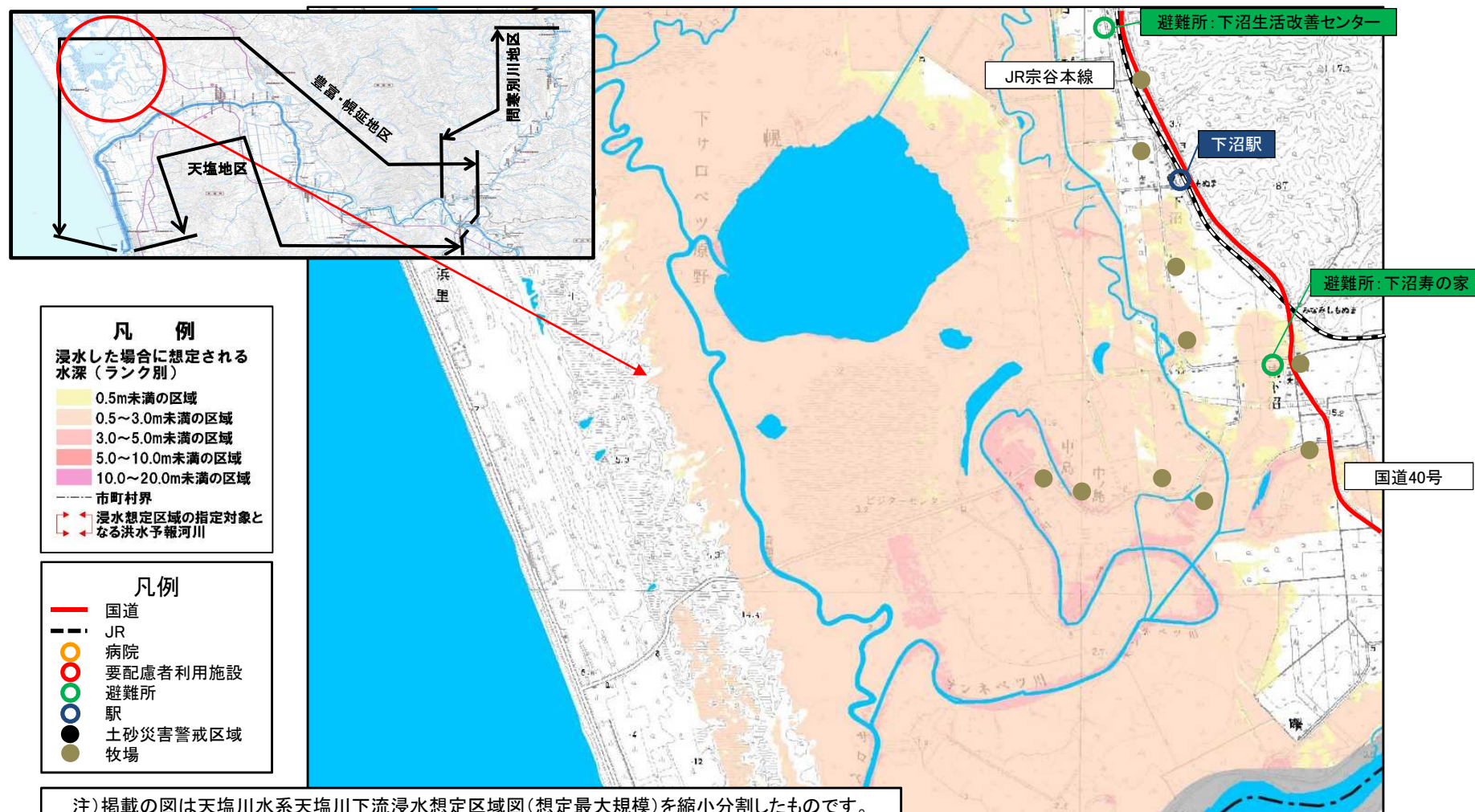
低平地では、住宅のみならず、複数の避難所等への浸水が想定され、かつ、国道40号をはじめとする避難経路が途絶するおそれがある。また、広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定が重要となる。



注) 掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図(想定最大規模)を縮小分割したものです。

2. 天塩川下流の主な課題＜豊富・幌延地区(天塩川右岸側)＞

サロベツ原野が位置する低平地では、複数の避難所や町道等への浸水が想定され、避難経路が途絶するおそれがある。また広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定及び町・道路管理者との連携による今後整備予定の水防活動の拠点等の検討が重要となる。



3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・ 避難勧告の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を気象台と共同で実施している。
- ・ 重大災害の発生のおそれがある場合には、留萌開建、北海道から天塩町長、豊富町長、幌延町長に対して情報伝達をしている。

■天塩川下流洪水予報区間



課題

A

- ・ 洪水予報等の防災情報が受け手側にとってわかりにくいこともあり、防災情報の持つ意味や、防災情報を受けた場合の対応について住民等の認識が不十分であることが懸念される。

3. 現状の取組状況

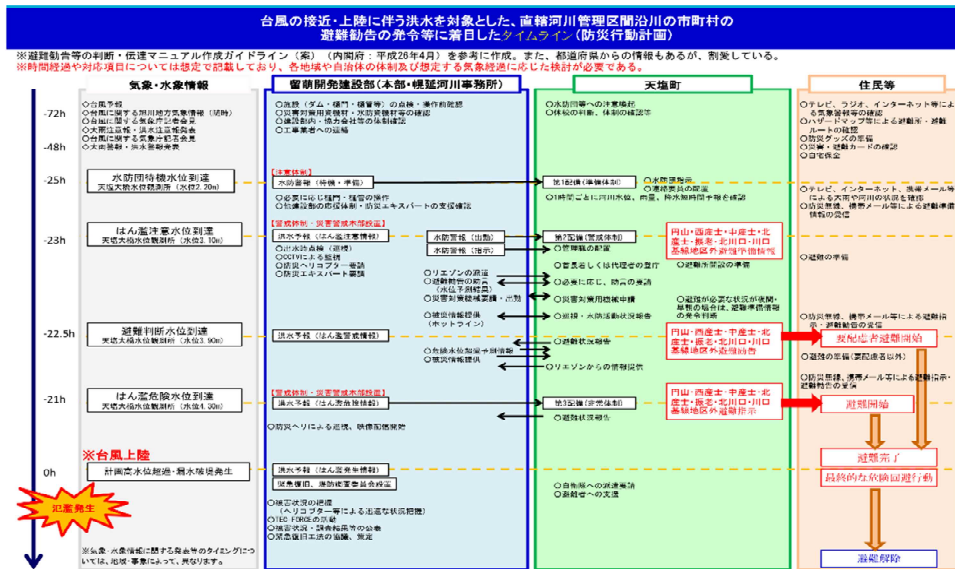
①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・ 避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成している。
- ・ 避難勧告等の発令に関する内容を地域防災計画に記載し、その内容に基づき発令している。

天塩町の避難勧告等の発令に着目したタイムライン



課題

B

- ・ 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの運用実績が現時点では無いことから、訓練を通じた精度向上と合わせて、円滑な運用を可能とするために、各地域における避難勧告等の発令タイミングや、避難情報の伝達方法等を予め整理することが求められる。

C

- ・ 現行の地域防災計画には、水位に対応した避難勧告等の発令基準や、発令対象地区が明確に記載されておらず、広域に分散する住民等への情報伝達の手法等が不十分であることが懸念される。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・ 防災マップ及びHPにおいて避難場所・一時避難所を周知している。
- ・ 平成28年7月公表の浸水想定区域図に基づきハザードマップの見直しが必要である。



まるごとまちごとハザードマップ設置状況



幌延町農業協同組合問寒別支所

課題

D

- ・ 浸水想定区域図等に記載された浸水深等の情報がリスクとして住民に理解されず、情報を受けた場合でも適切な行動に結びつかないことが懸念される。

E

- ・ 避難経路を指定していないため、いざという時に避難路が浸水しているなど、適切に行動できないことが懸念される。

F

- ・ 酪農施設等による広域分散型の土地利用が形成されている箇所では、浸水深の深い区域において避難が困難になることが懸念される。

G

- ・ 長時間・広範囲の国道・道道の浸水により、住民の避難や災害拠点病院への搬送等が困難となることが懸念される。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難勧告等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・ 河川水位、洪水予報等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 避難に関する情報や避難の際の注意情報を、防災無線、広報車、農協のFAX・**エリアメール**等により情報伝達をしている。
- ・ 避難誘導は、地域防災計画において町職員、消防団等が実施するよう設定されている。

課題

H

- ・ 高気密性住宅が多いことに加え、風雨等の騒音等により、音声による情報の聞き取りが困難となることが懸念される。

I

- ・ 文字・水位情報ではわかりにくく、伝えたい情報が正しく伝わっていないことが懸念される。住民が広範囲に分散することや高齢化等から、伝えたい情報が一部の住民に確実に伝わっていないことが懸念される。（天塩町、豊富町、幌延町の高齢化率は3割）

J

- ・ 地域防災計画には、町職員、消防団等が適切かつ迅速に避難誘導を行うこととされており、迅速な活動のためにより連携が求められる。

3. 現状の取組状況

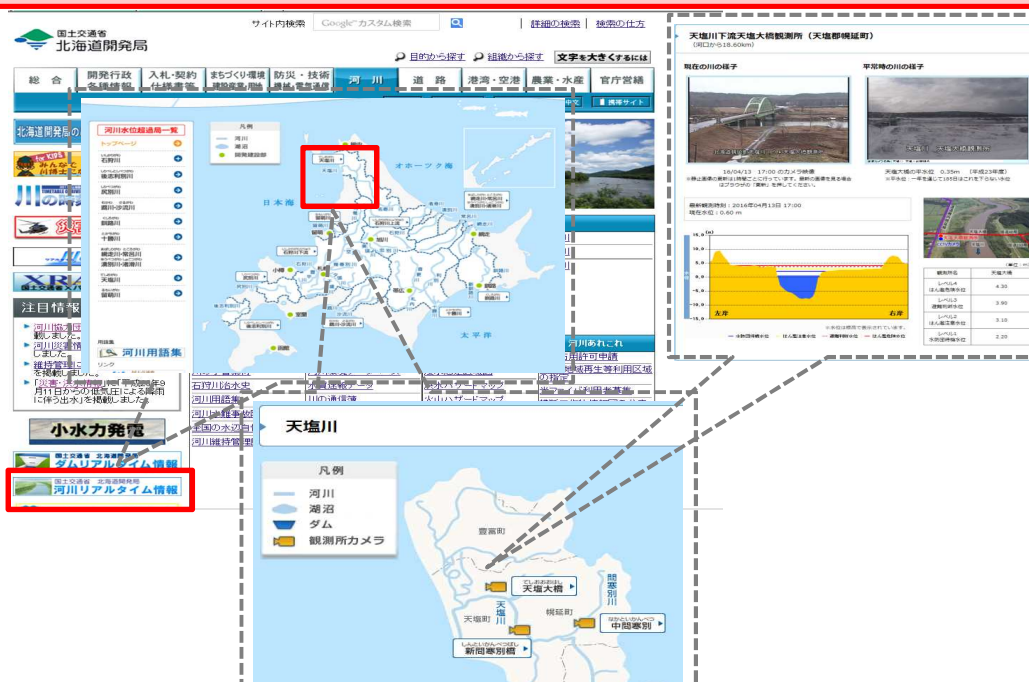
②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・ 河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- ・ 基準観測所の水位に応じて水防警報を発表している。

国土交通省北海道開発局
河川リアルタイム情報



課題

K

- ・ 河川水位、洪水予報、水防警報、重要水防箇所等の情報をどのように活用すべきなのか、個々の水防団員への周知が不十分である。

3. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・ 平常時に水防活動の効率化を図るため、住民、関係機関と水害リスクの高い箇所
の合同巡視を実施し、出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実
施している。
- ・ 水防資機材は各関係機関で、事務所・水防拠点等に保有している。



課題

L

- ・ 住民を含む合同巡視が対象地区全てでは実施されておらず、リスク情報の周知が充分とはいえない。

M

- ・ 各関係機関の水防資機材保有状況を共有し、充実を図る必要がある。

3. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・ 消防事務組合、建設協会等の関係機関と連携を図っている。
- ・ 関係機関と連携した水防活動の実施訓練を行っている。



課題

N

- ・ 水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が少ないこと、水防団員が減少傾向であることから、作業を的確にできないことが懸念される。

3. 現状の取組状況

③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

『排水施設、排水資機材の操作、運用』

現状

- ・ 関係機関が連携した排水訓練を実施している。
- ・ 保有する水防資機材は非常時においては水防団等への貸し出しが可能である。



関係機関と連携した排水訓練



課題

O

- ・ 大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統を把握し、関係機関の連携による排水計画を検討する必要がある。

P

- ・ 広域的な資機材等の保有状況や、非常時における支援要請手順について、情報の共有が不充分である。

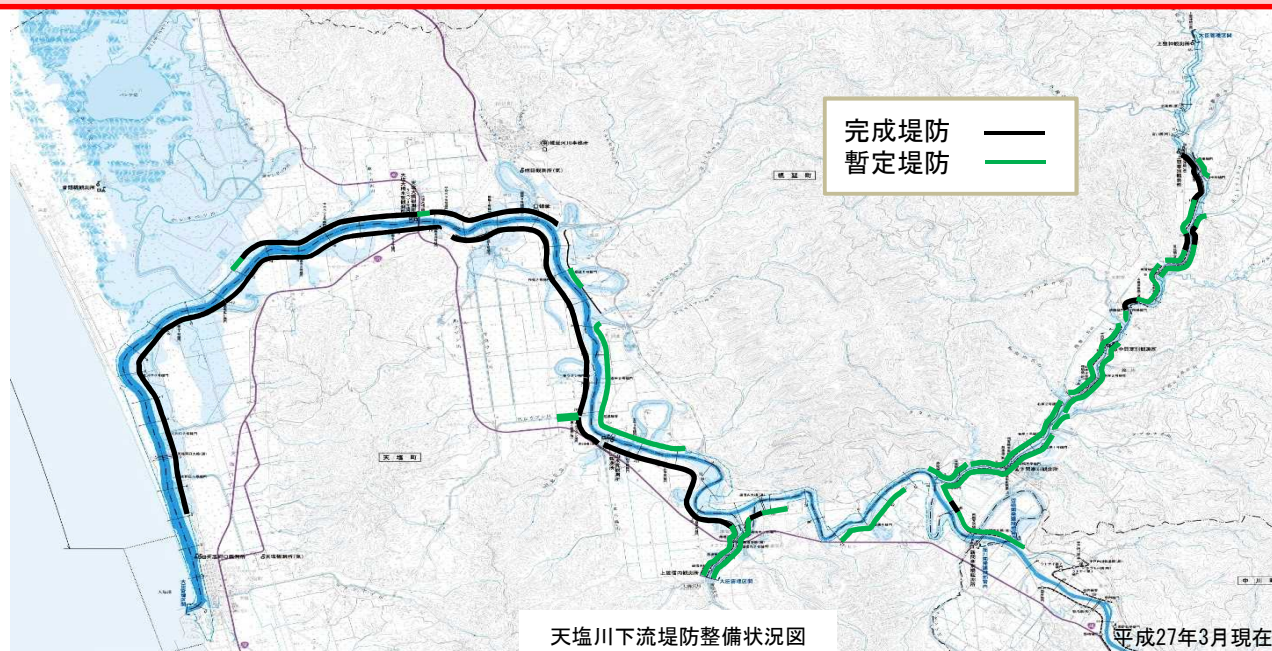
3. 現状の取組状況

④河川管理施設の整備に関する事項

『堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容』

現状

- ・計画断面に満たない堤防に対し、早期に嵩上げを実施するため、民家等が集中する地区から優先的に堤防整備を実施している。
- ・危機管理型ハード対策として、堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強を実施している



課題

Q

- ・無堤地区や計画断面に対して高さや幅が不足している堤防があり、洪水により氾濫する恐れがある。
- ・洪水の越水や河岸の浸食により、堤防が決壊するおそれがある。

4. 減災のための目標

■ 5年間で達成すべき目標

天塩川下流の大規模水害に対し
「**確実な避難を目指す**」、「**長時間続く洪水から地域を守る**」

■ 上記目標達成に向けた2つの取組

天塩川下流において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取組を実施。

1. 広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた**確実な避難に関する取組**
2. 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための**水防活動・復旧に関する取組**

5. 概ね5年で実施する取組

1) ハード対策の主な取組

■洪水氾濫を未然に防ぐ対策 ■危機管理型ハード対策 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2) ソフト対策の主な取組

①広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへ反映
- ・町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討
- ・タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
- ・各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
- ・農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
- ・分かりやすい洪水予報伝文への改良
- ・気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善

■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
- ・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの作成と周知
- ・小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
- ・関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
- ・防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実

②長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
- ・関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
- ・迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえた、水防資機材の一時的な保管場所を検討の上、充実を図る。
- ・的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る
- ・自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認

■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

- ・浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進

■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

- ・想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
- ・訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応: 

○堤防整備等(雄信内地区等)【～平成32年度:留萌開発建設部、北海道(稚内建設管理部管理区間は含まない)】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○堤防整備等の実施 (雄信内地区等)	—	○河川整備計画の策 定のための協議
平成29年度 実施予定	○継続実施	—	○事業に着手(河道 掘削など)

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	—	—
平成29年度 実施予定	—	—	—

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

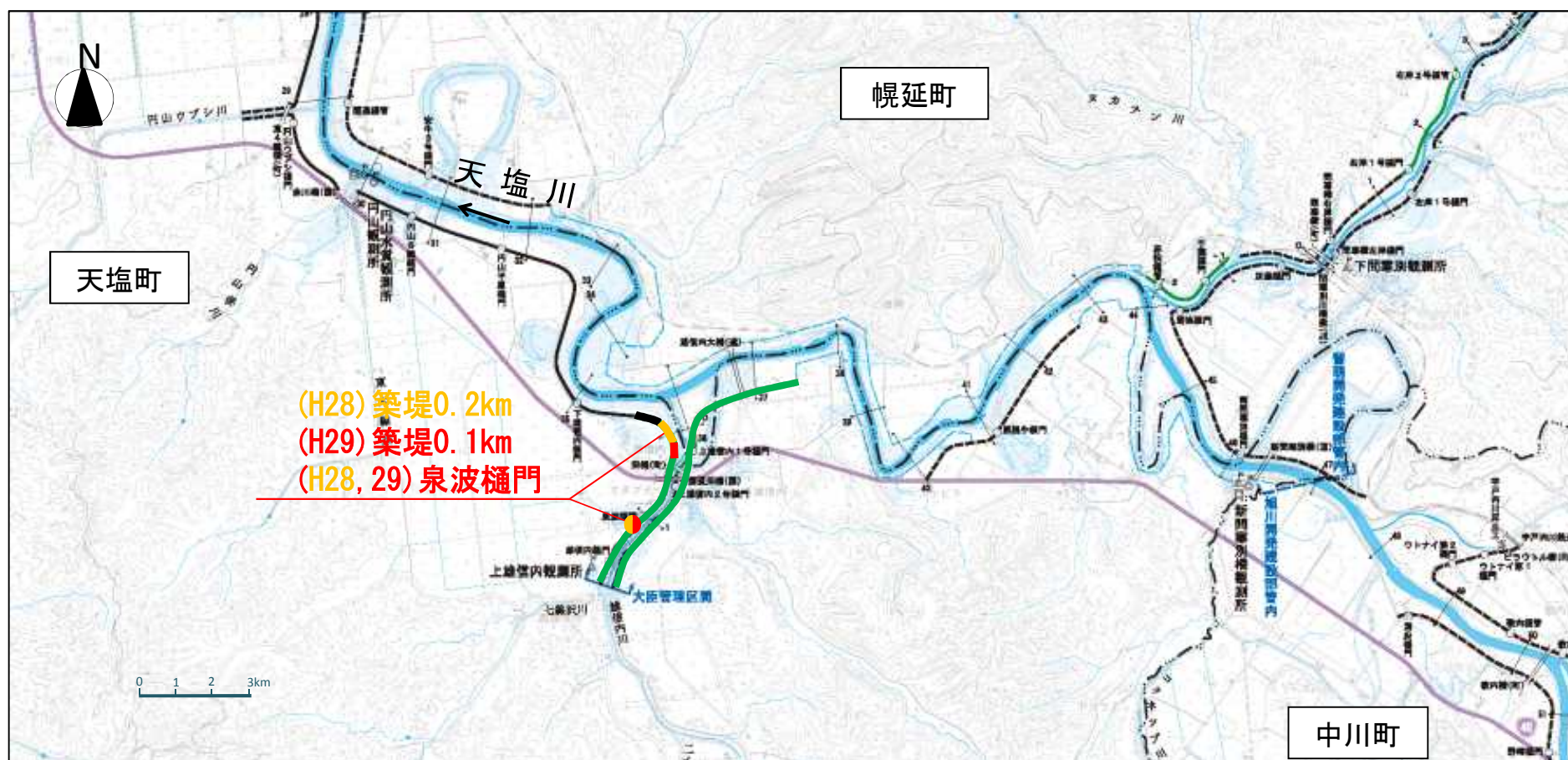
■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応: **Q**

	全体延長	H27まで	H28	H29予定	H30以降予定
雄信内地区 堤防整備	5.8km	0.2km	0.2km	0.1km	5.3km

凡例

- H27まで実施
- H28実施
- H29予定
- H30以降予定



6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■危機管理型ハード対策

課題対応: 

氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランスの観点から堤防整備に至らない区間などについて、平成32年度を目途に決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策を実施。

【～平成32年度：留萌開発建設部】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○天端保護を実施	—	—
平成29年度 実施予定	○天端保護、裏法尻 補強を継続実施	—	—

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	—	—
平成29年度 実施予定	—	—	—

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

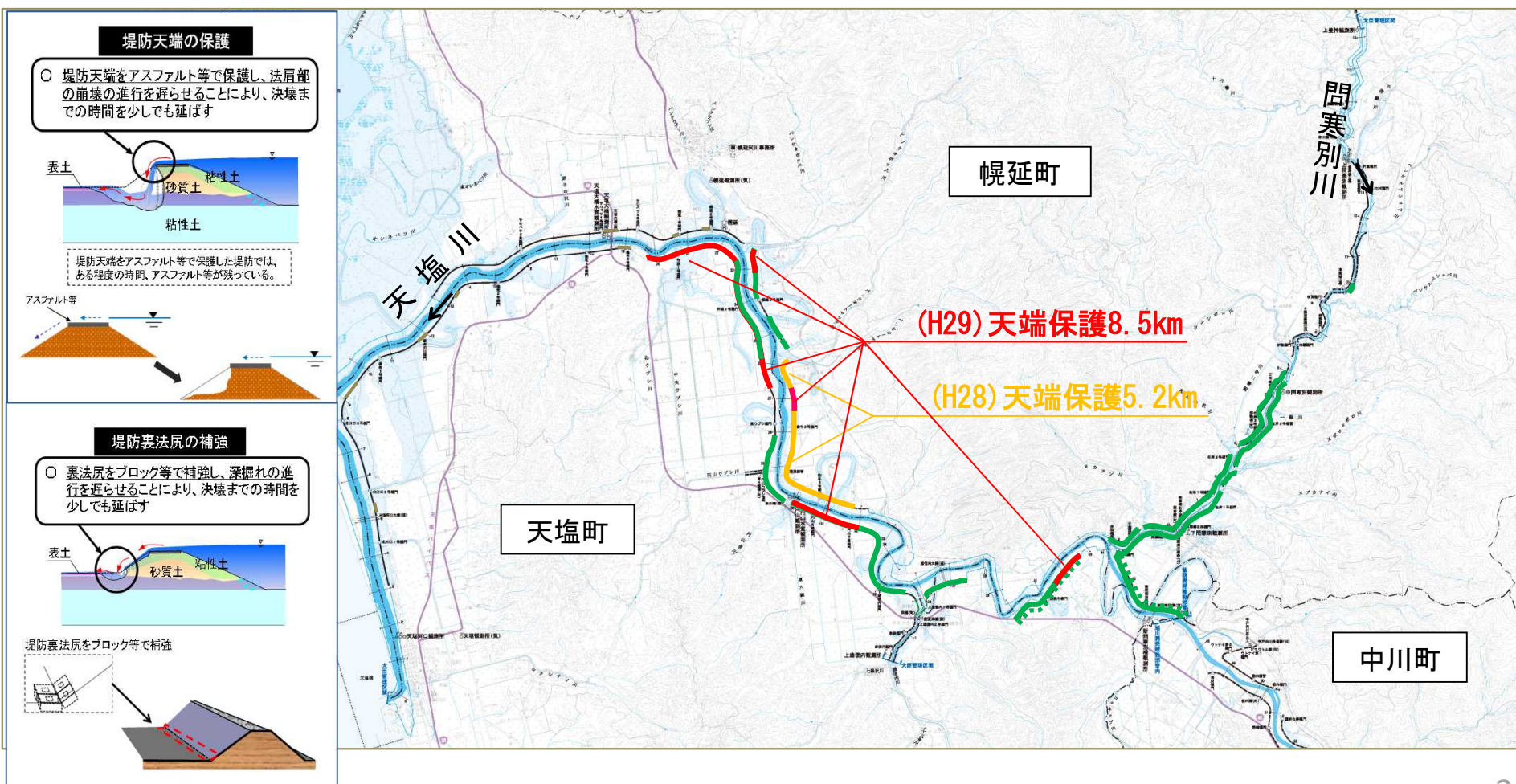
■危機管理型ハード対策

課題対応: **Q**

	全体延長	H28	H29予定	H30以降予定
天端保護	45.7km	5.2km	8.5km	32.0km
法尻補強	5.0km	—	—	5.0km

凡例

天端保護	法尻補強	
		H28実施
		H29予定
		H30以降予定



6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応:

H

I

○住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築【平成28年度から実施:留萌開発建設部】

○洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築【平成29年度から実施:留萌開発建設部】

○高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより、充実を図る。【平成28年度から実施:天塩町・豊富町・幌延町】

○水防拠点の整備(幌延地区)【～32年度】留萌開発建設部

課題対応:

M

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○スマートフォン版「川の防災情報」の供用を開始	—	—
平成29年度 実施予定	○洪水情報のプッシュ型配信を平成29年5月1日より開始	—	—

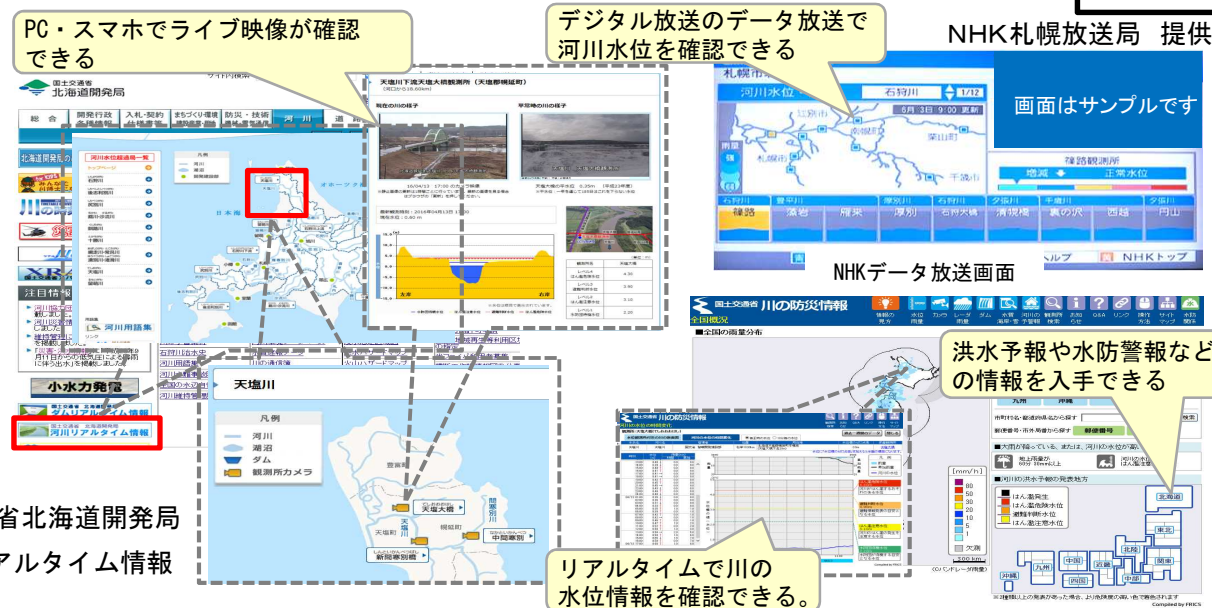
	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	○情報伝達手段の整備方針について検討準備	○情報伝達手段の整備方針について検討準備
平成29年度 実施予定	—	○防災行政無線の最適な音量調整やそれに必要な整備を検討	○双方向通信システム（IP告知端末機）更新の検討

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応:

H

I



国土交通省北海道開発局
河川リアルタイム情報

国土交通省
川の防災情報

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成29年5月1日から、9水系36市町村で洪水情報が配信開始されます～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、流域住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から国が管理する2河川（鬼怒川、沓川）の沿川自治体（茨城県常総市、愛媛県大洲市）において緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信に取り組んでいます。北海道開発局では、平成29年5月1日から、自治体や携帯事業者との調整等が整った9水系36市町村において洪水情報のプッシュ型配信を開始します。

※ 洪水情報とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。



河川氾濫情報

メーメル配信

道開発局

道開発局は、大雨などで河川氾濫が激が高まった河川が氾濫した際、被害が想定される地域に住む住民が持つ携帯電話に緊急速報メーメルを送信する取り組みを5月から、道内18河川36市町村で初めて導入する。留萌管内では留川流域の留萌市、天塩川と雄偉川の閼塞別川流域の天塩町の計2市町が対象になる。取り組みは、昨年8月の台風で大きな被害を受けた道内の河川を中心に治水対策などを行う道緊急治水対策プロジェクトの一環として実施。今後、自治体や携帯電話事業者との調整など信対象エリアを拡大する。

緊急速報メーメルは、対象河川の氾濫危険水位に到達した際に、氾濫危険情報が住民の携帯電話に発表され、河川の水が堤防を越えたり堤防が壊れたり大にあって氾濫が発生情報が発表された際に住民の携帯電話に送信され、住民の注意を促す。

緊急速報メーメルの内容に關する問い合わせは、留萌開発建設部治水課に電話（011-550-5555）番へ。

日刊留萌新聞 平成28年4月1日

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

E

F

G

○想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画及びハザードマップへ反映【平成29年度から順次実施:天塩町、豊富町、幌延町】

○町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討【平成28年度から実施
留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○想定最大規模降雨（L2） による浸水想定区域図等を 公表 ○避難経路、水防拠点につ いて検討準備	—	—
平成29年度 実施予定	○避難経路、水防拠点につ いて検討	—	—

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	—	○防災計画の全面改定
平成29年度 実施予定	○防災計画及びハザード マップの見直し準備	○防災計画及びハザード マップの見直し準備	○ハザードマップの見直し準備

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

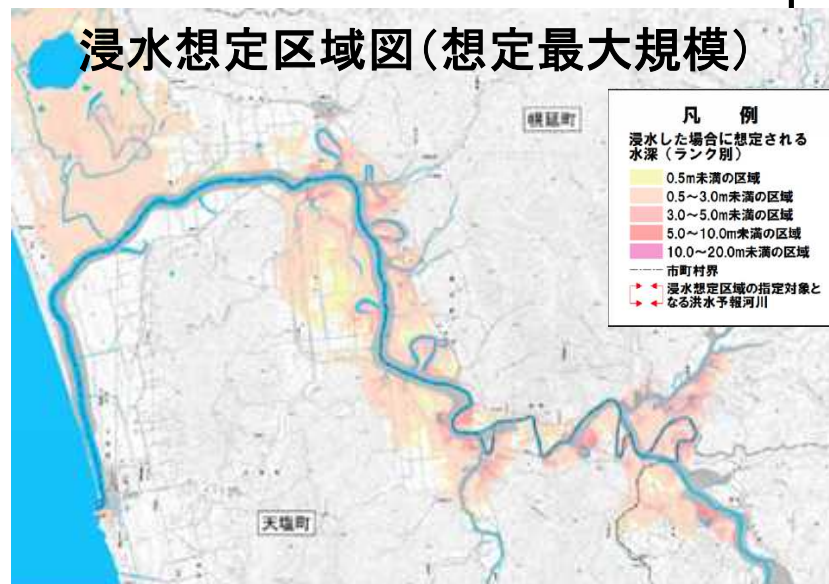
課題対応:

E

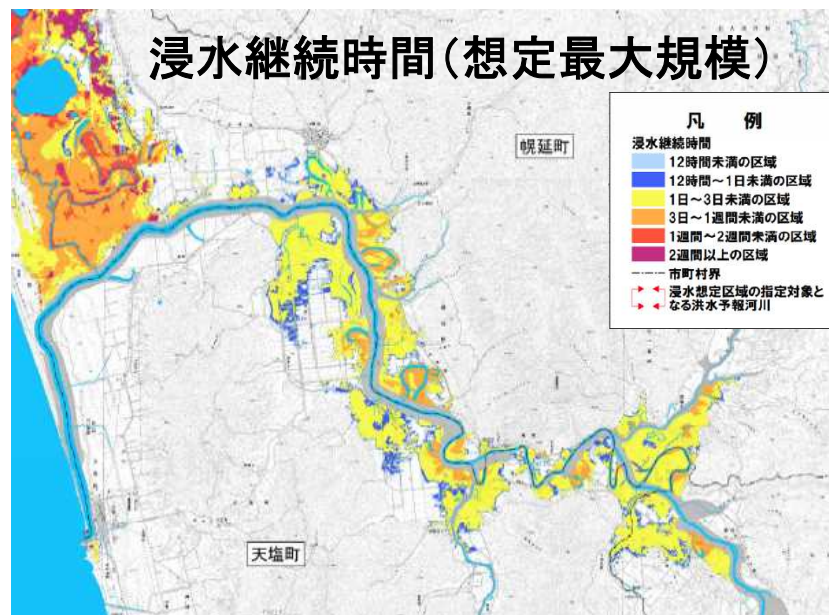
F

G

浸水想定区域図(想定最大規模)



浸水継続時間(想定最大規模)



幌延町 ハザードマップの改定準備

天塩町、豊富町 地域防災計画及びハザードマップの改定準備



6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

B

C

J

○タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上

【平成29年度から実施:留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

○各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し

【平成28年度から順次実施:天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○平成28年7月12日、北海道災害対策留萌地方本部指揮室設営訓練に参加 ○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加	○平成28年7月12日、北海道災害対策留萌地方本部指揮室設営訓練に参加 ○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加	○平成28年7月12日、北海道災害対策留萌地方本部指揮室設営訓練を実施
平成29年度 実施予定	○情報伝達訓練の実施 ○平成29年5月8日、洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施	○情報伝達訓練の実施 ○平成29年5月8日、洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加	○情報伝達訓練の実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加
	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○マニュアル等の改訂内容について検討準備	○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○マニュアル等の改訂内容について検討準備	○平成28年10月18日～19日、天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修に参加 ○マニュアル等の改訂内容について検討準備 ○防災計画の全面改定
平成29年度 実施予定	○情報伝達訓練の実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加 ○防災計画及びハザードマップの見直し準備	○情報伝達訓練の実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加 ○防災計画及びハザードマップの見直し準備	○情報伝達訓練の実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練に参加 ○ハザードマップの見直し準備

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **B**

○大規模水害に対する地域防災力向上に資するべく、天塩川流域市町村(2市8町1村)及び、関係機関の防災担当者を対象とした豪雨災害対策研修を天塩川治水促進期成会と連携し開催しました。

○参加された方から、「避難勧告等は早めに躊躇することなく発令することが重要」との感想がありました。

天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修 概要

目 的：北海道では今年8月に観測史上初めて1週間の間に3個の台風が上陸し、その1週間後に再び台風が接近するというかつてない気象状況となり、各地で記録的な大雨による甚大な被害が発生しました。天塩川でも氾濫危険水位を超える川の増水や浸水被害が発生するなど大規模洪水への備えの重要性を再認識すべき状況となり、地域防災力向上に資するべく本研修を行うものです。

実 施 日：平成28年10月18日～19日

実施場所：名寄市 グランドホテル藤花
(北海道名寄市西5条南4丁目)

対象機関：自治体(名寄市、士別市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、中川町、幌延町、天塩町、豊富町、音威子府村)
関係機関(旭川開発建設部、留萌開発建設部、旭川地方气象台、北海道上川総合振興局、北海道警察旭川方面本部、陸上自衛隊第2師団)

参加人数：約70人

訓練内容：○気象に関する基礎知識
○防災に関する基礎知識
○河川情報に関する基礎知識
○北海道の防災体制等について
○豪雨災害時の対応について
○危機管理演習(グループワーク)

研修実施状況



加藤名寄市長 開会挨拶



研修実施状況



危機管理演習(グループワーク)

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

C

E

F

G

○農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進

【平成28年度から順次実施:留萌開発建設部、天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○要配慮者利用施設への説明会の準備 ○台風被害のあった自治体の酪農家の避難の状況や被災後の対応等について聞取調査を実施	○要配慮者利用施設への説明会の準備	○要配慮者利用施設への説明会の準備
平成29年度 実施予定	○平成29年5月26日、管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催 ○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討	○平成29年5月18日（稚内）、26日（留萌）管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催	○平成29年5月18日（稚内）、26日（留萌）管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	○災害発生時に農協等から被害状況や対応状況、課題等の聞取を実施	—
平成29年度 実施予定	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討	○関係機関との連携による課題の抽出・対応策の検討

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

C E F G

2017. 5. 26 水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会



浸水想定区域図(想定最大規模)等のパネルを展示



●留萌振興局管内の**高齢者施設、障がい者・障がい児施設、児童施設、病院等**より、**88施設の管理者65名(重複含む)**が参加されました。

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

C

E

F

G

広域に分散する酪農の避難場所等の確保・訓練に関する取組みについて

下表は昨年8月の台風により大きな被害が生じた茅室町・南富良野町・清水町での酪農家の避難の状況・被災後の対応及びそれらについての課題について聞き取りを行い、その概要をまとめたものである。

	茅室町	南富良野町(公共串内牧場)	清水町
被害・避難状況	・酪農家1戸が美生川破堤により孤立(牛2頭(肉牛)牛舎に繋いだまま、住民は破堤前に自主避難)	・牧場に通じる道道、町道が損壊したため牧場内の牛が孤立(約800頭(育成牛・乾乳牛・肉牛))	・酪農家の施設流失が2軒、子牛が数頭流される被害 ・停電は短時間で解消したが、断水は約2ヶ月続いた
対応	・牛2頭は被災5日後に町と道で水位の低下後に救助し町営牧場に預けた。	・牧場が使用できなくなったため、牛全頭、酪農家に戻す。	・JA主導で被害の無い離農跡の牛舎に搾乳牛を避難させ、育成牛は放牧の対応をとった
対応結果	・通常公共・町営牧場で牛を受け入れる場合は伝染病に備えワクチン接種や血液検査を行うこととなり、対応に時間を要する。 ・今回は頭数が少なかったため町営牧場で受け入れたが100頭規模での受け入れは難しい	・1日約150頭程度退牧をさせたが、トラックの手配が課題となった。 ・牛の救助までの飲み水の確保にバキュームタンク1台を利用して供給していたが全然足りなかった(牛800頭)	・酪農家は家族を避難させ自分は最後まで自宅に残る人が多かった。 ・長期断水(約2ヶ月)となったため家畜の飲み水の確保のため町内のタンクローリーをフル稼働させたが、それでも不足した。

・事務局では上記を踏まえ以下の課題を抽出し、第3回幹事会において、今後は関係機関(各町・JA等)の実務担当者意見交換の上、対応方針・スケジュール等を整理することとなりました。

課題	- 被災の受けた牧場の家畜を被災の受けていない牧場(公共・町営・個人など)への移送についての対策がとられていない - 搾乳牛や育成牛などの救助の順番について(搾乳牛は1日1回搾乳しないと乳房炎になるため早期の避難が必用)の対策がとられていない - 伝染病に備えたワクチン接種や血液検査について、緊急的に受け入れに対応が可能か? - 断水及び停電に備える対策がとられていない - 地域防災計画への位置づけが無い - 家畜の全頭避難は現実的には不可能であり、人命優先で避難すべきだが、もし残って面倒を見るにしても対応策が必用と考えられる - 家畜の関連事業者(運送業者等)や獣医師療養機関などの関連機関との連携不足(豊富町)
----	--

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

A

○分かりやすい洪水予報伝文への改良 【平成28年度:留萌開発建設部、地方気象台】

○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善 【～平成29年度:地方気象台】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○市町村や住民等に対し越水等に関する切迫度が伝わるよう洪水予報文を改良	○市町村や住民等に対し越水等に関する切迫度が伝わるよう洪水予報文を改良 ○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善の試行を実施	—
平成29年度 実施予定	—	○大雨警報（浸水害）・洪水警報等の基準の改正及び「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善し、平成29年5月17日より運用開始	—

	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	—	—
平成29年度 実施予定	—	—	—

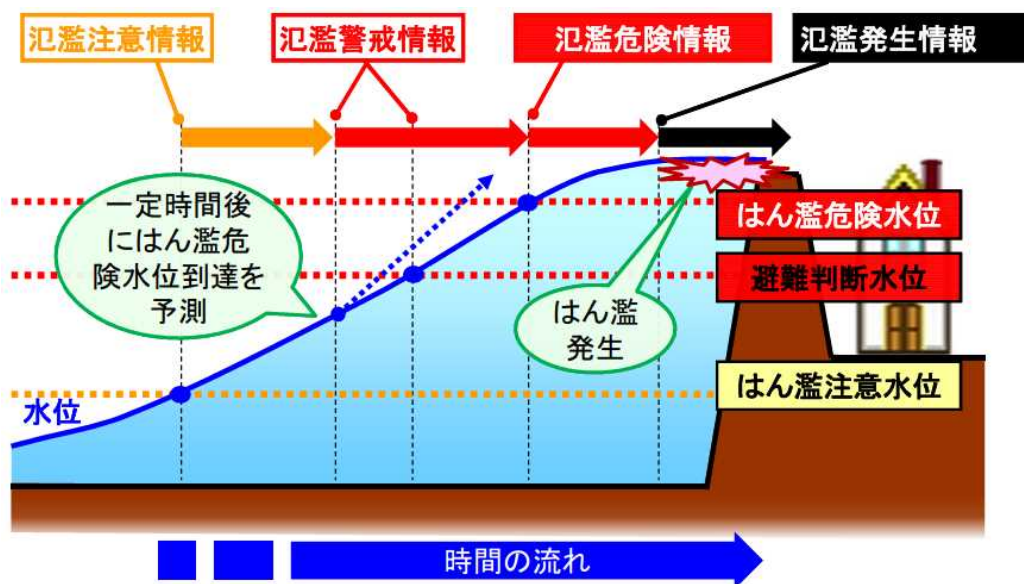
6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

A

市町村や住民等に対し越水等に関する切迫度
が伝わるよう洪水予報文を改良



洪水予報文(主文)の改良例

改良前

〇〇川では、はん濫危険水位(レベル4)に達する見込み

〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、約〇時間後には(はん濫危険水位)(レベル4)に達する見込みです。

川沿いの〇〇市、〇〇町のうち、堤防の無い、または堤防の低い箇所などでははん濫のおそれがありますので、市町村からの避難情報に注意して下さい。

改良後

〇〇川では、はん濫危険水位(レベル4)に到達する見込み

〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、〇〇日〇〇時頃に、**避難勧告等の発令の目安となる「はん濫危険水位(レベル4)」**に到達する見込みです。

〇〇市、〇〇市、〇〇町では、**〇〇川の堤防決壊等によるはん濫により、浸水するおそれがあります。**市町村からの避難情報に**十分注意するとともに、適切な防災行動をとって下さい。**

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応:

A

「危険度を色分けした時系列」や「警報級の可能性」の表示改善の試行を実施

平成28年度、交通政策審議会気象分科会の提言による「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方」を踏まえて、「危険度を色分けした時系列」や「警報級の可能性」の試行を実施し、平成29年5月17日に気象庁HPで提供を開始した。

○危険度を色分けした時系列

平成29年 6月 8日 16時 10分 旭川地方気象台発表

上川・留萌地方の注意警戒事項

留萌地方では、9日朝まで強風や高波に、9日昼前まで濃霧による視程障害に注意してください。上川、留萌地方では、8日夜遅くまで急な強い雨や落雷に注意してください。

留萌市【継続】強風、波浪、高潮注意報

留萌市			今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別			8日			9日							
			15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)		10	10	30	30	50	50	50	30			
	(浸水害)												
暴風	風向 風速 (矢印・ メートル)	陸上	15	18	20	22	22	25	18	15	15		
		海上	20	22	25	20	20	20	22	20	20		
波浪	波高(メートル)		5	5	8	8	8	8	8	7	7	突風、ひょう 視程500メートル以下	
高潮	潮位(メートル)		0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2		

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。

■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。

各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。

[警報・注意報\(文章形式\)へ](#)

➤ 注意報・警報発表毎に更新

○警報級の可能性

平成29年 6月 8日 11時 00分 旭川地方気象台発表

北海道留萌地方の警報級の可能性

留萌地方では、9日明け方までの期間内に、暴風(暴風雪)警報を発表する可能性がある。

種別	警報級の可能性						
	8日		9日			10日	11日
	夕方まで 12-18	夜～明け方 18-6	朝～夜遅く 6-24				
大雨	-	-	-	-	-	-	-
大雪	-	-	-	-	-	-	-
暴風(暴風雪)	[中]	[中]	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-

[高]: 警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。

[中]: [高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が[中]とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

➤ 天気予報(05時、11時、17時)
週間天気予報(11時、17時)発表毎に更新

参考 http://www.jma.go.jp/jp/warn/302_table.html

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **D**

○想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
【平成28年度：留萌開発建設部】

○想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知【平成29年度から実施：天塩町、豊富町、幌延町】

○想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの作成と周知【平成29年度から実施：天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○想定最大規模降雨（L2）による浸水想定区域図等を作成して公表	—	—
平成29年度 実施予定	—	—	—

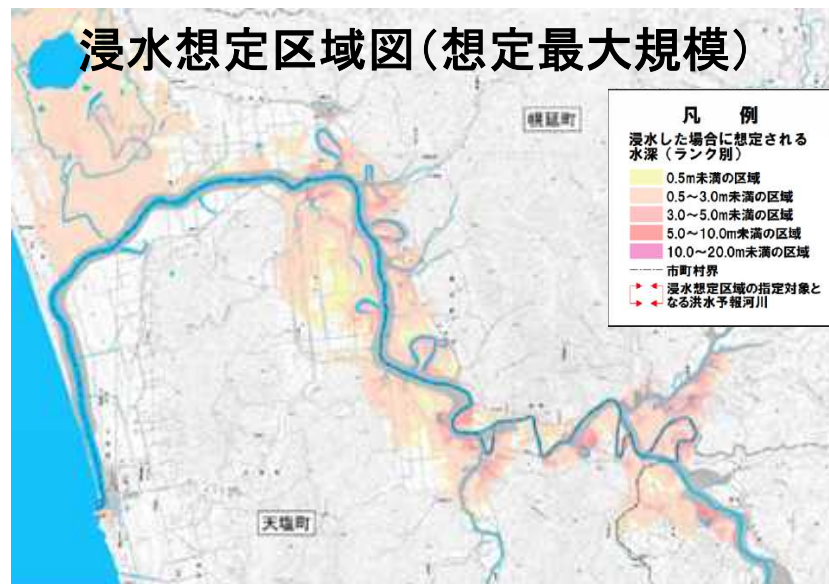
	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	—	—	○防災計画の全面改定
平成29年度 実施予定	○ハザードマップの見直し準備	○ハザードマップの見直し準備	○ハザードマップの見直し準備

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

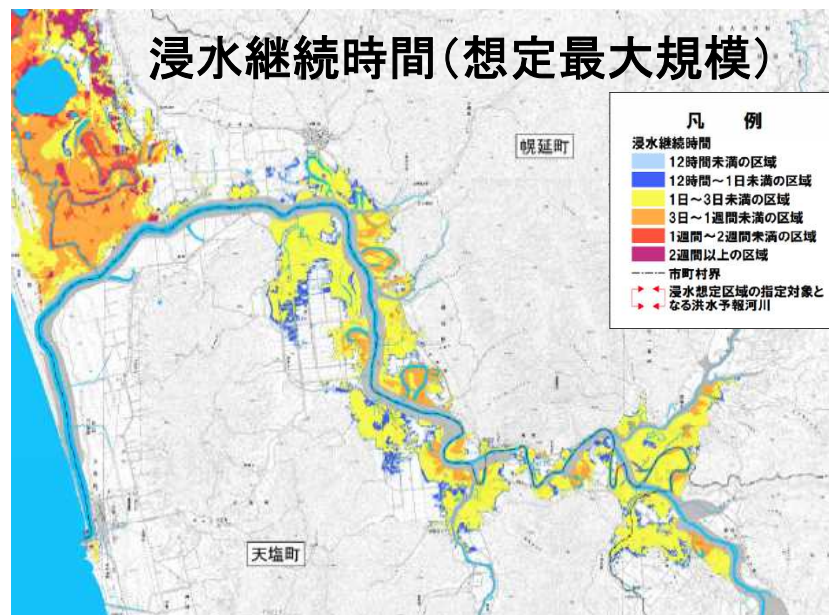
■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **D**

浸水想定区域図(想定最大規模)



浸水継続時間(想定最大規模)



幌延町 ハザードマップの改定準備

天塩町、豊富町 地域防災計画及びハザードマップの改定準備



6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **F** **I**

○小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施

【平成28年度から順次実施: 留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

○関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施

【平成29年度から実施: 留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

○防災無線やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実

【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○平成28年9月1日天塩小学校にて防災教育・訓練を実施 ○新たな浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表	—	—
平成29年度 実施予定	○平成29年5月26日、管内要配慮者利用施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催 ○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施	○平成29年5月18日（稚内）、26日（留萌）管内要配慮者施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催 ○防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施	○平成29年5月18日（稚内）、26日（留萌）管内要配慮者施設管理者へ水害・土砂災害対応の説明会を開催 ○防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施
	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○HPや広報誌を通じて防災情報の広報を実施	○豊富小学校等において災害等を想定した避難訓練を実施 ○HPや広報誌等を通じて防災情報の広報を実施	○HPや広報誌等を通じて防災情報の広報を実施
平成29年度 実施予定	○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施	○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施	○引き続き、防災教育の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応:

A

D

F

I

○天塩町立天塩小学校6年生を対象として天塩川の水害及び防災の講話、簡易担架リレー(家族などが怪我をしたときにどう運ぶか)、目隠しゲーム(火災などで周りが見えない時に自分の感覚がどのくらいか)などを楽しみながら体験できる防災学習を実施した。

平成28年度防災出前授業・防災運動会 概要

目的：日頃難しく考えがちな「防災・減災」を楽しみながら学んでもらうという趣旨のもと「地域の防災力の原点である相互信頼・集団協力の大切さ」も同時に学んでいただき、防災活動に対する基礎能力を高めることを目的とする。

実施日：平成28年9月1日(木)

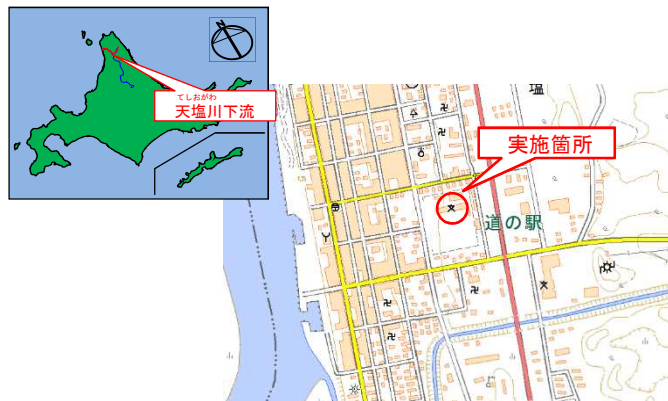
実施場所：天塩町立天塩小学校(天塩町新栄通5)

主催：萌志会(留萌建設協会二世会)

参加機関：天塩町立天塩小学校、留萌開発建設部、留萌建設業協会

参加人数：40人

実施内容：天塩川の水害及び防災についての講話
防災運動会



実施状況



防災出前授業



簡易担架リレー



目隠しゲーム

6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **L**

- 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施 【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

課題対応: **J K N**

- 関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○重要水防箇所の見直しを行い、関係機関等に周知している ○平成28年8月1日・2日関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施 ○平成28年9月13日、災害対策機械操作訓練 ○平成28年10月17日水防技術講習会を実施	—	—
平成29年度 実施予定	○継続実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施	○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施	○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施
	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○平成28年8月1日・2日関係機関と合同で重要水防箇所の点検 ○平成28年10月17日水防技術講習会に参加	—	○平成28年8月1日・2日関係機関と合同で重要水防箇所の点検 ○平成28年10月17日水防技術講習会に参加
平成29年度 実施予定	○継続実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施	○継続実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施	○継続実施 ○平成29年5月12日天塩川下流の洪水を想定した情報伝達訓練を実施

6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応:

L

○防災関係機関職員、水防活動に従事する消防署職員及び工事受注者等と、土のう積みや木流し工法等の水防技術講習を行いました。

○合わせて水質事故に備えた対策訓練を実施し、管理体制及び防災体制の強化に努めています。

平成28年度天塩川下流水防技術講習会 概要

目的：出水時における水防活動及び水質事故対応が円滑に実施されるよう、水防技術の向上と伝承を図る講習会及び水質事故対応の技術向上を目的とした水質事故対策資材の設置訓練を実施する。

実施日：平成28年10月17日（月）

実施場所：幌延水防倉庫ヘリポート

主催：留萌開発建設部幌延河川事務所

参加機関：天塩町、幌延町、関係機関（消防組合等）
工事受注者

参加人数：45人

実施内容：水防工法講習
縄の結び方、土のうの作り方、積み土のう工
木流し工



実施状況



縄の結び方



積土のう工



木流し工

6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **L**



6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **M**

○迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る 【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

○的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員数の確保を図る
【平成28年度から実施: 天塩町、豊富町、幌延町】

○自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認 【引き続き実施: 北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

課題対応: **N**

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有。 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。	—	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有。 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。 ○平成28年11月28日開催留萌防災行政ネットワーク会議にて自衛隊災害派遣要請について議題とし説明
平成29年度 実施予定	○水防資機材の確保と情報共有について継続実施	—	○水防資機材の確保と情報共有について継続実施 ○自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法についての確認を継続実施
	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○募集を継続 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○募集を継続 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有 ○募集を継続 ○天塩川下流減災部会において陸上自衛隊留萌・名寄駐屯地との情報共有を図っている。
平成29年度 実施予定	○水防資機材の確保と情報共有について継続実施 ○募集を継続実施	○水防資機材の確保と情報共有について継続実施 ○募集を継続実施	○水防資機材の確保と情報共有について継続実施 ○募集を継続実施

6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **M**

防災資機材保有状況検索システム

地図から選ぶ

留萌 開発建設部管内 >>> 保有機関を検索します

- 留萌開発建設部 留萌港湾事務所
- 留萌開発建設部 幌延河川事務所
- 留萌開発建設部 留萌開発事務所 留萌ダム管理支所
- 留萌市役所 防災倉庫
- 小平町役場 防災資材庫
- 苫前町役場
- 羽幌町役場
- 初山別村役場
- 天塩町役場 防災倉庫
- 天塩町役場 建設課倉庫
- 天塩町役場 道路維持倉庫
- 天塩町役場 港湾管理人事務所
- 幌延町役場
- 遠別町役場
- 留萌振興局 北海道留萌地区防災資器材備蓄センター
- 留萌建設管理部 事業課
- 留萌建設管理部 羽幌出張所
- 留萌建設管理部 遠別出張所

☒ 開発局
 ☒ 道・自治体
 ☒ 民間

☒ 市町村名・行政区界
 チェックを入れた場合…ポイントが場所により重なって表示される場合があります。左のリスト一覧からクリックするとその機関の保有資機材一覧が表示されます。

防災資機材一覧

表示機関: 留萌 管内 留萌開発建設部 留萌開発事務所 一覧を表示 平成24年度

留萌開発建設部 留萌開発事務所
住所: 留萌市堀川町2丁目78番地
電話番号: 0164-42-3132
FAX: 0164-43-8574
担当: 留萌開発建設部 留萌開発事務所

表をコピーする ※Internet Explorerのみ対応

分類	種別	規格	単位
☐	シート	防水シート	3.6m×5.4m 枚
☐	土木用材	アンカーピン	磨炭用 φ9mm×150cm 本
☐	油処理用材	オイルマット	もりの木太郎 MPW-45 38×55×3cm 枚
☐	油処理用材	オイルマット	スミレイ 500×49cm×50cm×5.0cm 枚
☐	油処理用材	オイルマット	タフネル BL-50 50cm×50cm×4mm 枚
☐	油処理用材	オイルマット	タフネル BL-65 65cm×65cm×4mm 枚
☐	油処理用材	オイルフェンス	ブリヂストン EP-200S 10m/本 本
☐	油処理用材	オイルフェンス	スミレイ 1500 φ15cm×2m/本 本
☐	油処理用材	オイルフェンス	タフネル TF-200 5m/本 本
☐	油処理用材	オイルフェンス	スミレイ 1100 φ11cm×2m/本 本
☐	油処理用材	油吸着材	スミレイ(油のみ吸着高吸着性炭) 20L/袋 袋
☐	油処理用材	油処理剤	ネオス AB3000 18L/袋 袋
☐	油処理用材	油処理剤	ドーホーカクダスクリーン 16L/缶 缶
☐	油処理用材	油処理剤	ネオスセキュリロップ 18L/袋 袋
☐	油処理用材	油吸着材	東洋紡 Oマート 50×44 50cm×50cm×4mm 枚
☐	土木用材	土のう袋	480mm×620mm ポリプロピレン 枚
☐	土木用材	大型土のう袋	1100mm×1080mm 枚
☐	土木用材	アンカーピン	φ16mm×120cm 本
☐	土木用材	アンカーピン	φ16mm×120cm 本
☐	油処理用材	オイルフェンス	タフネル TF-200 φ200mm×200mm 本

防災資機材一覧

表示機関: 留萌 管内 留萌開発建設部 幌延河川事務所 一覧を表示 平成24年度

留萌開発建設部 幌延河川事務所
住所: 天塩郡幌延町字幌延158番地2
電話番号: 01632-5-1231
FAX: 01632-5-2270
担当: 副長(技術)

表をコピーする ※Internet Explorerのみ対応

分類	種別	規格	単位	数量	備考
☐	土木用材	アンカーピン	磨炭用 φ16mm L=20cm~160cm	本	851
☐	油処理用材	オイルフェンス	ブリヂストン EP-200S 10m/本	本	740
☐	救助用具	ライフジャケット(救命胴衣)	大人用	着	22
☐	米類	アルファ米	味付きご飯 100g	食	170
☐	米類	レトルトパック	ワンクイックライス	食	160
☐	パン類	パン缶	100g/缶	缶	24
☐	パン類	カンパン	乾パン100g	食	40
☐	汁物	汁缶		食	24
☐	おかず類	缶詰		缶	16
☐	油処理用材	オイルマット	タフネル BL-65 65cm×65cm×4mm	枚	800
☐	油処理用材	オイルマット	もりの木太郎 M-4580 38×55×1.5cm	枚	400
☐	油処理用材	オイルマット	もりの木太郎 MPW-45 38×55×3cm	枚	480
☐	油処理用材	オイルマット	もりの木太郎 M-040 20×25×2cm 80H/箱	箱	1
☐	油処理用材	オイルフェンス	もりの木太郎 F5018	本	38
☐	油処理用材	オイルフェンス	タフネル TF-200 φ20cm	m	300
☐	油処理用材	オイルフェンス	もりの木太郎 F5018 φ180mm×5m/本、2本/箱	箱	17
☐	油処理用材	オイルフェンス	タフネル F-1 L=20m	箱	7
☐	土木用材	大型土のう		缶	800 FSO
☐	応急復旧資材	大型連鎖ブロック		缶	395
☐	応急復旧資材	根固めブロック		缶	132
☐	土木用材	土のう		缶	300
☐	土木用材	袋型模範工材	24型	枚	186 ポリルニオンSBU-24型

水防資機材の保有状況の共有

6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

課題対応:

G

O

P

○想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
【平成28年度から順次実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

○訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認
【引き続き実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

	留萌開発建設部	地方気象台	北海道
平成28年度 実施内容	○平成28年9月13日、災害対策機械操作 訓練実施 ○平成29年2月、排水ポンプ車を幌延河 川事務所へ配備 ○平成28年4月25日、水防連絡協議会及 び災害対策機械の出動要請に必用な事 項を説明	○水防連絡協議会に参加	○水防連絡協議会に参加
平成29年度 実施予定	○継続実施 ○想定最大規模の洪水に対する排水計 画案について検討予定	○継続実施	○継続実施
	天塩町	豊富町	幌延町
平成28年度 実施内容	○水防連絡協議会に参加	○水防連絡協議会に参加	○水防連絡協議会に参加
平成29年度 実施予定	○継続実施	○継続実施	○継続実施

6. 概ね5年で実施する取組～長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

課題対応:

G

O

P



2016・9・13 災害対策用機械操作訓練



幌延河川事務所に配備された
排水ポンプ車

減災対策協議会(道管理区間含む)今後の進め方

平成29年7月（出水期前）減災対策協議会設置

- ・ 既存の減災部会を法定協議会化。新たな構成員を追加（自衛隊、警察、消防、ＪＲ）
- ・ 道管理区間に関する現状のリスク情報、取組状況の共有
- ・ 取組方針（国管理区間）フォローアップ
- ・ 今後のスケジュールの確認

規約の承認
協議会の設置

適宜 減災対策協議会 幹事会

- ・ 出水時の課題について共有
- ・ 新規構成員による取組項目等整理
- ・ 国管理区間＋道管理区間を対象として、概ね５年以内で実施する取組方針の見直し

平成29年度内 減災対策協議会

- ・ 取組方針（国管理区間＋道管理区間）の策定

取組方針の承認

- ・ 以降、出水期前に毎年協議会を開催し、フォローアップを実施
- ・ 取組方針についても必要に応じて見直し

